

ミニディスクロージャー誌

平成28年3月期・営業の中間ご報告

2015

Interim Mini Disclosure



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(平成28年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。本誌では、平成27年度中間期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

足元の国内経済は、このところ一部に鈍い動きもみられますが、緩やかな回復基調が続いております。当社グループの主要営業地域である北陸地域では、今年3月の「北陸新幹線」開業効果により、観光地への来客数が前年を大きく上回り、観光業を中心に経済の好循環が持続しております。また、

北海道地域では来年3月の「北海道新幹線」開業まで4カ月を切り、開業に向けた準備が着々と進むなか、カウントダウンイベントが開かれるなど、道南地区を中心に期待感が高まっております。

当社グループでは地元企業への資金面の支援に留まらず、広域ネットワークを活かしたビジネスマッチングや新幹線効果を活用した首都圏での地域産品のプロモーションなど、地元企業の営業拡大に向けた活動の支援に積極的に取り組んでおります。また、今年度は、「地域創生」への取り組みとして、北陸銀行・北海道銀行内に本部・支店を横断する組織を立上げ、地方公共団体および地域企業等との接点をさらに強化し、各地域の地方版総合戦略の策定・事業推進への支援を行っております。

今後も広域地域金融グループとして、「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指し、地域経済の活性化に全力で取り組むなかで企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年12月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

| | |
|---------|----|
| ごあいさつ | 01 |
| 中期経営計画 | 02 |
| 業績ハイライト | 03 |
| グループの概要 | 07 |
| ネットワーク | 08 |
| 地域とともに | 09 |
| 財務諸表 | 17 |
| 株式のご案内 | 21 |

“GO for IT!”

平成25年4月～28年3月

～ 持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間 ～

“Go for IT!”は「頑張れ!」の意。一人ひとりがさらなる成長に向けて努力する、そして、地域とお取引先の発展を応援するという決意を込めた名称です。目指す姿である「親しまれ」(Intimate)、頼りにされる(Trustworthy)地域金融グループに向かって前進してまいります。

業績ハイライト

グループの概要

ネットワーク

地域とともに

財務諸表

株式のご案内

キャラクター紹介

目指すグループ像

「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」

基本方針

1. 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。
2. 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。
3. 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

■ 平成28年3月期目標とする計数(2行合算・連結)

| | 平成28年3月期 (目標) | 平成27年3月期 (通期実績) | 平成27年9月期 (半期実績) |
|---------------------|------------------|--------------------|--------------------|
| 総預金平残 | 10兆1,100億円 | 10兆4,336億円 | 10兆6,731億円 |
| 貸出金平残 | 7兆4,800億円 | 7兆4,520億円 | 7兆5,207億円 |
| コア業務純益 | 470億円 | 512億円 | 275億円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益* | 185億円 | 282億円 | 166億円 |
| 連結自己資本比率 | 10%以上 | 11.13% | 10.89% |
| OHR (コア業務粗利益ベース) | 67% | 64.64% | 62.18% |
| 不良債権比率 | 2%台 | 2.43% | 2.28% |

*会計基準等の改正に伴い、中間純利益の表示の変更を行っております。

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

| | 27年9月期 | 前中間期比 | |
|-----------------|--------|---------|--------|
| | | 27年9月期 | 26年9月期 |
| 経常収益 | 991 | 27 | 964 |
| 経常利益 | 261 | 42 | 218 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 166 | 28 | 138 |
| 自己資本比率 | 10.89% | △ 0.49% | 11.38% |

当社における27年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比27億円増加の991億円、連結経常利益は前中間期比42億円増加の261億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比28億円増加の166億円となりました。

連結自己資本比率は10.89%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位:億円)

| | 2行合算 | | |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 27年9月期 | 前中間期比 | |
| | 27年9月期 | 27年9月期 | 26年9月期 |
| 経常収益 | 918 | 20 | 897 |
| コア業務粗利益 | 729 | 8 | 720 |
| 経費(臨時処理分を除く) | 453 | △ 23 | 477 |
| コア業務純益 | 275 | 31 | 243 |
| 与信費用 | 16 | △ 13 | 30 |
| 経常利益 | 268 | 45 | 223 |
| 中間純利益 | 178 | 29 | 148 |

2行合算では、経常収益は前中間期比20億円増加の918億円となり、中間純利益は前中間期比29億円増加の178億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前中間期比17億円減少の463億円となり、中間純利益は前中間期比4億円増加の82億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比38億円増加の454億円となり、中間純利益は前中間期比38億円増加の96億円となりました。

(単位:億円)

| | 北陸銀行 | | |
|--------------|--------|---------|--------|
| | 27年9月期 | 前中間期比 | |
| | 27年9月期 | 27年9月期 | 26年9月期 |
| 経常収益 | 463 | △ 17 | 480 |
| コア業務粗利益 | 378 | △ 3 | 381 |
| 経費(臨時処理分を除く) | 243 | △ 16 | 259 |
| コア業務純益 | 134 | 12 | 122 |
| 与信費用 | 8 | 0 | 8 |
| 経常利益 | 129 | 4 | 125 |
| 中間純利益 | 82 | 4 | 78 |
| 自己資本比率 | 10.31% | △ 0.67% | 10.98% |

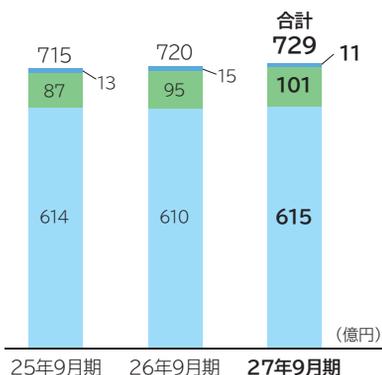
(単位:億円)

| | 北海道銀行 | | |
|--------------|--------|---------|--------|
| | 27年9月期 | 前中間期比 | |
| | 27年9月期 | 27年9月期 | 26年9月期 |
| 経常収益 | 454 | 38 | 416 |
| コア業務粗利益 | 350 | 11 | 339 |
| 経費(臨時処理分を除く) | 210 | △ 7 | 217 |
| コア業務純益 | 140 | 19 | 121 |
| 与信費用 | 7 | △ 14 | 21 |
| 経常利益 | 139 | 41 | 98 |
| 中間純利益 | 96 | 25 | 70 |
| 自己資本比率 | 10.45% | △ 0.34% | 10.79% |

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **615億円**

貸出金利息は減少しましたが、有価証券利息配当金の増加等により、前中間期比5億円増加しました。

役員取引等利益 **101億円**

投資信託および保険販売手数料が増加したため、前中間期比6億円増加しました。

その他 **11億円**

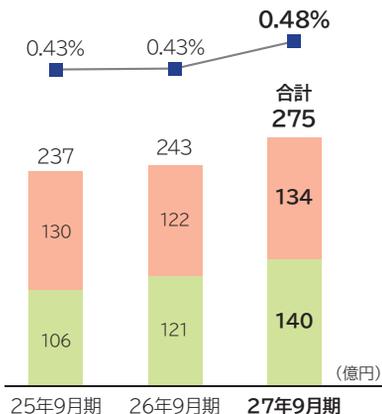
金融派生商品収益が減少したため、前中間期比3億円減少しました。

コア業務粗利益 **729億円**

上記の結果、前中間期比8億円増加しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA

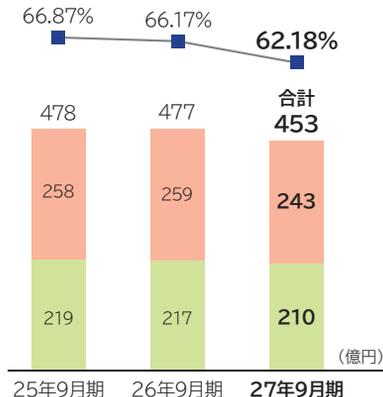


コア業務純益 **275億円**

コア業務粗利益の増加および経費の減少により、前中間期比31億円増加しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR

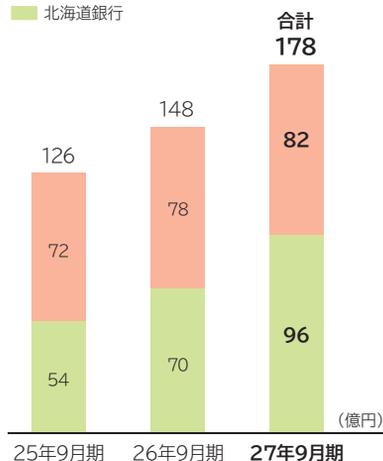


経費 **453億円**

人件費、物件費ともに減少したことから、前中間期比23億円減少しました。

■ 中間純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



中間純利益 **178億円**

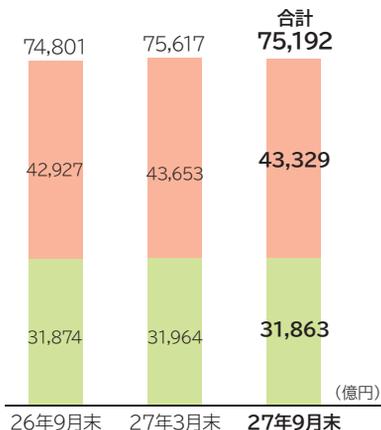
与信費用が減少したことなどから、経常利益は前中間期比45億円増加しました。

中間純利益は、法人税等の増加により前中間期比29億円の増加となりました。

貸出金・預金等の状況

■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

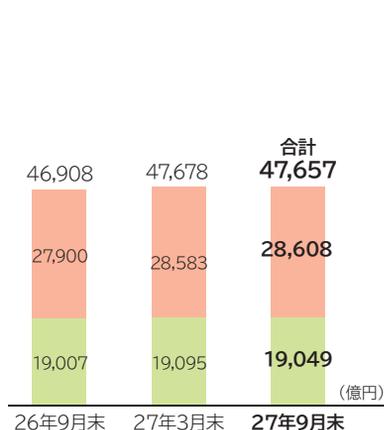


貸出金
7兆5,192億円

地方公共団体等向け貸出は減少しましたが、事業性貸出や個人ローンの増加により、前中間期末比391億円増加しました。

■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

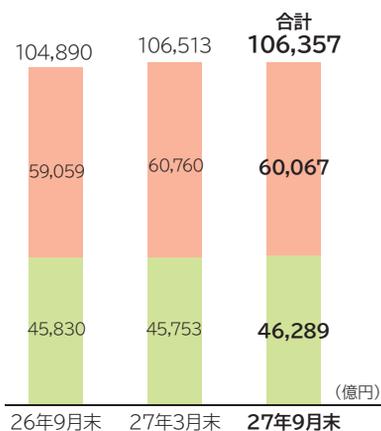


中小企業等貸出
4兆7,657億円

地域金融の担い手として積極的に取り組んできた結果、前中間期末比749億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

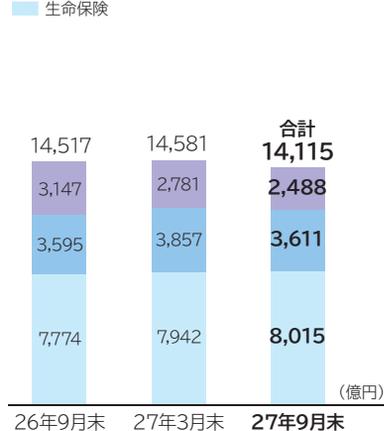


預金(含む譲渡性預金)
10兆6,357億円

個人預金、法人預金は順調に増加しており、前中間期末比1,466億円増加しました。

■ 個人預かり資産(公共債、投資信託、生命保険)<2行合算>

公共債
投資信託
生命保険

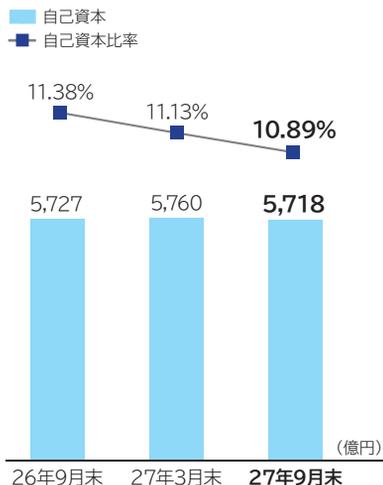


個人預かり資産
1兆4,115億円

投資信託および生命保険は増加しましたが、公共債が減少し、前中間期末比401億円減少しました。

健全性の指標・配当推移

■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
10.89%

利益の積み上げを図った一方、劣後ローンの返済等により、27年3月末比0.24ポイント低下しました。

■ 格付

格付投資情報センター

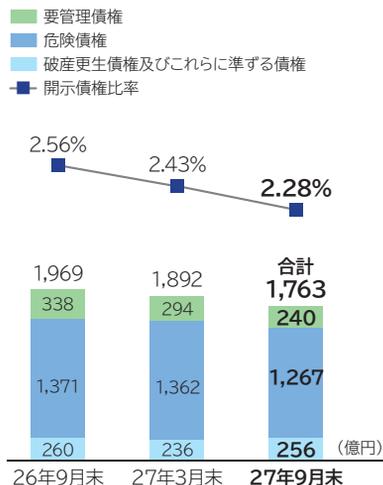
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



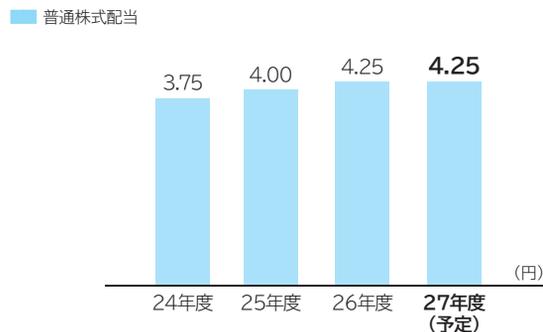
金融再生法開示債権
1,763億円

27年3月末比129億円減少しました。

開示債権比率
2.28%

27年3月末比0.15ポイント改善しました。

■ 普通株式年間配当(1株当たり)



普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえて中間配当を見送りとさせていただきます、期末一括配当1株当たり4円25銭を予定しています。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

銀行持株会社



Hokuhoku
Financial
Group, Inc.

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,351,630,146株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役・監査役の役職および氏名

| 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
|--------|-------|---------|-------|
| 取締役社長 | 庵 栄伸 | 取締役 | 小倉 隆巳 |
| 取締役副社長 | 笹原 晶博 | 取締役(社外) | 大島 雄次 |
| 取締役 | 麦野 英順 | 取締役(社外) | 中川 了滋 |
| 取締役 | 山川 広行 | 常勤監査役 | 稲葉 純一 |
| 取締役 | 中野 隆 | 監査役(社外) | 前泉 洋三 |
| 取締役 | 森田 勉 | 監査役(社外) | 川田 達男 |

■ 従業員の数 専任者13名、兼務者70名、計83名

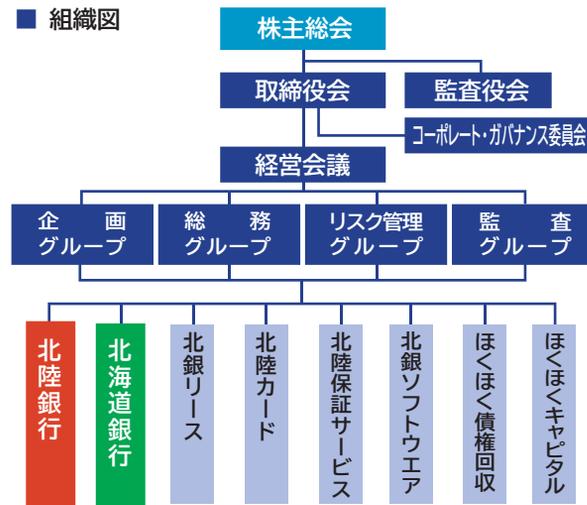
■ 設立日 平成15年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

| | |
|-----------------|---|
| 取締役会 | グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。 |
| 監査役会 | 監査の方針、監査役職務の執行に関する事項を決定し、取締役職務の執行を監査します。 |
| コーポレート・ガバナンス委員会 | 社外役員および常勤監査役で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外役員間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。 |
| 経営会議 | 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。 |

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 組織図

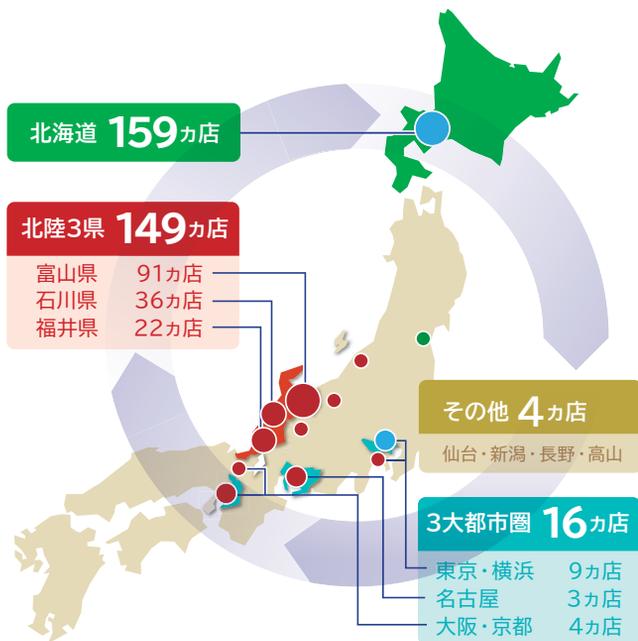


■ グループ各社の内容

| | |
|--------------|--|
| (株) 北陸銀行 | ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。 |
| (株) 北海道銀行 | |
| 北銀リース(株) | リース業務、代金回収業務などを行っています。 |
| (株) 北陸カード | JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。 |
| 北陸保証サービス(株) | 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。 |
| 北銀ソフトウェア(株) | コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。 |
| ほくほく債権回収(株) | 銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。 |
| ほくほくキャピタル(株) | 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。 |

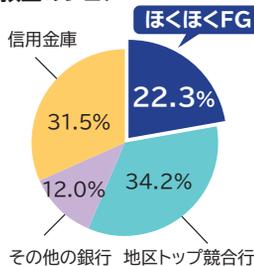
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

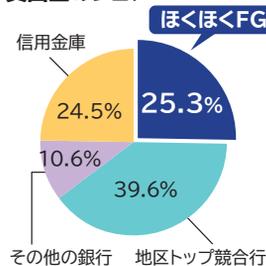


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

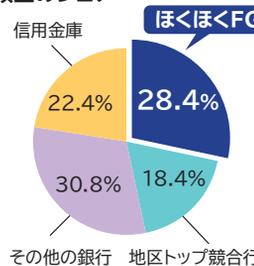


貸出金のシェア

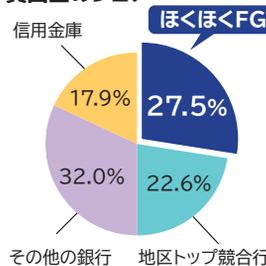


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、平成27年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所 |
| ② ロンドン駐在員事務所 | ⑦ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ バンコク駐在員事務所 | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所 | |

海外駐在員事務所 9 拠点 北陸銀行 6 北海道銀行 3



預金・貸出金の状況

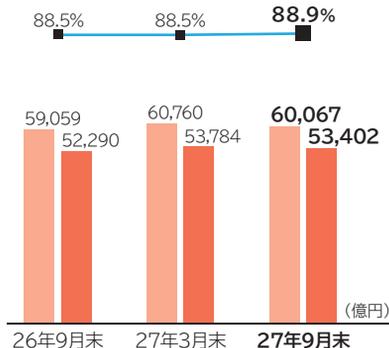
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

- 総預金残高
- うち地域の預金残高
- 地域の預金比率

総預金残高
6兆67億円

うち地域の預金残高
5兆3,402億円

地域の預金比率
88.9%



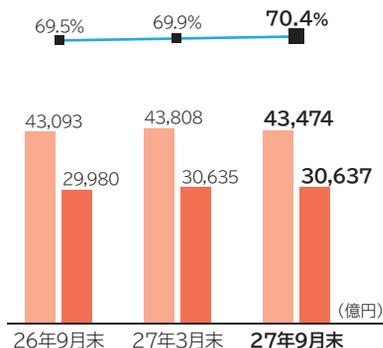
■ 地域向け貸出金の状況

- 総貸出金残高
- うち地域向け貸出金残高
- 地域向け貸出金比率

総貸出金残高
4兆3,474億円

うち地域向け貸出金残高
3兆637億円

地域向け貸出金比率
70.4%



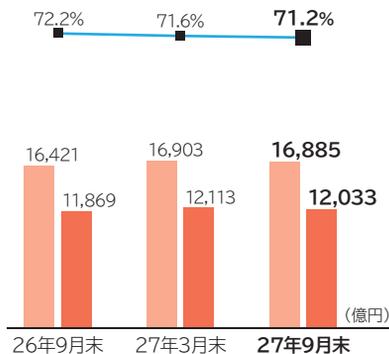
■ 中小企業向け貸出金の状況

- 中小企業向け貸出金残高
- うち地域の中小企業向け貸出金残高
- 中小企業向け貸出金に対する地域の中小企業向け貸出金比率

中小企業向け貸出金残高
1兆6,885億円

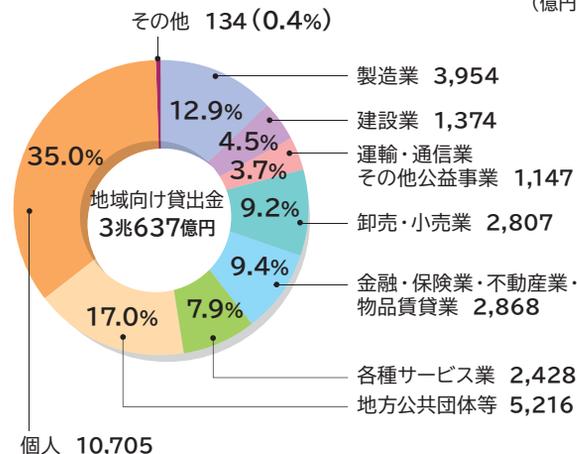
うち地域の中小企業向け
貸出金残高
1兆2,033億円

中小企業向け貸出金に対する
地域の中小企業向け貸出金比率
71.2%



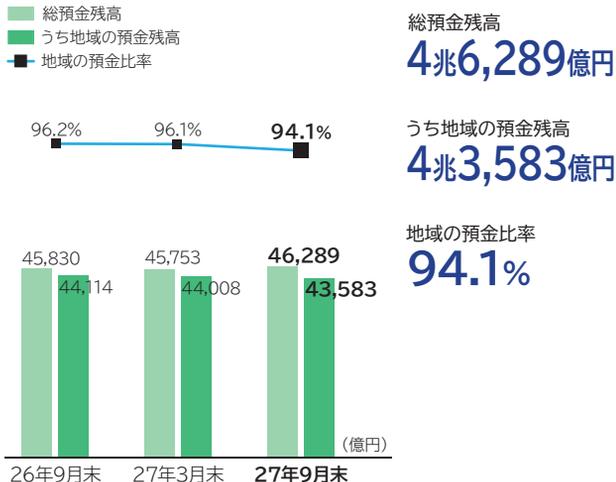
■ 地域の業種別貸出残高(平成27年9月末)

(億円)

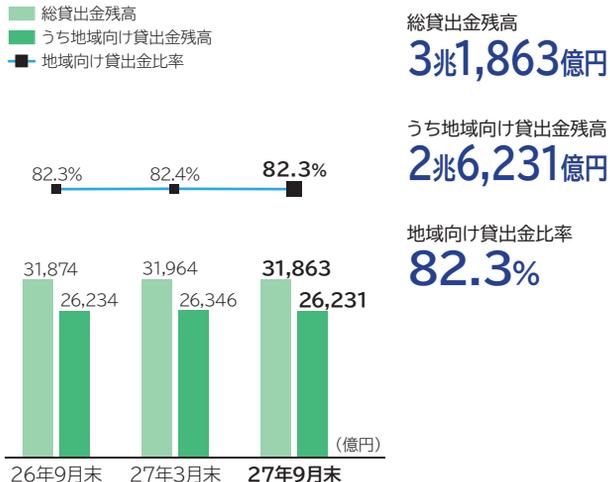


預金・貸出金の状況

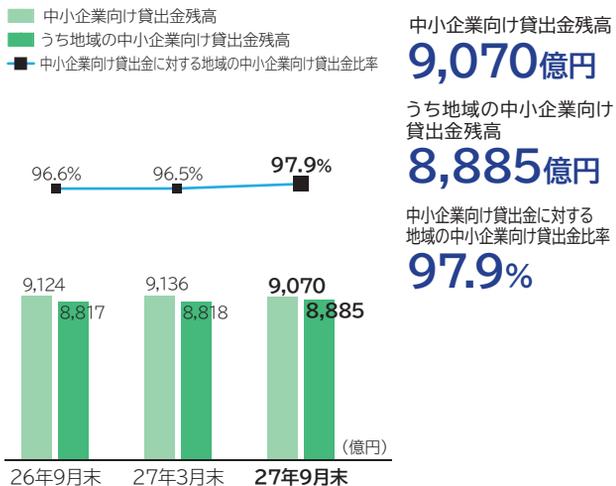
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況



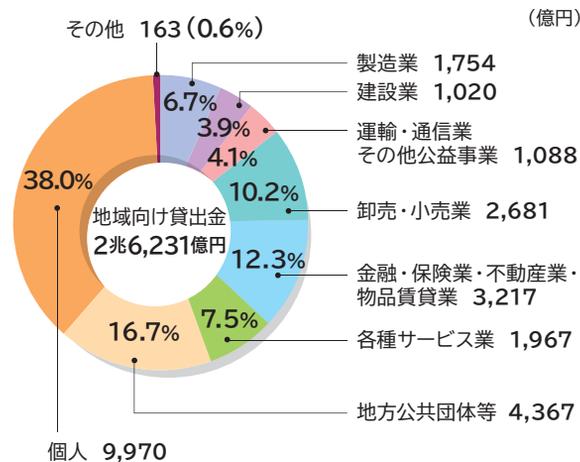
■ 地域向け貸出金の状況



■ 中小企業向け貸出金の状況



■ 地域の業種別貸出残高(平成27年9月末)





地域活性化・地方創生に関する取り組み

地域に根差した営業活動を行う金融機関にとって、地方創生の実現に向けた地域への積極的な関与・支援は、大きな使命です。

北陸銀行では、27年4月に「地域創生応援プロジェクトチーム」を発足し、6月には「地域創生部」を新設、北海道銀行では、4月に「道銀地方創生本部」を設置し、銀行一丸となって強力に地方創生を推進する体制を構築しています。

北陸銀行 北海道銀行 地方自治体との包括連携協定を締結

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として、地方自治体との包括連携協定を締結しています。

27年10月までに、北陸銀行では新たに、なめりかわ富山県滑川市、なんど南砺市、かみいち上市町、福井県越前市、および北海道釧路町と、北海道銀行では室蘭市と協定を締結しました。

各自治体がとりまとめる「地方版総合戦略」の策定と推進、「地方創生」に関する事業に積極的に協力していきます。



滑川市との調印式



室蘭市との調印式

北陸銀行 北海道銀行 「移住・住みかえ支援機構(JTI)」との提携

北陸三県および北海道内への移住・定住(住みかえ)の促進、空き家の有効活用などを通じて地方創生を進めるため、「移住・住みかえ支援機構(JTI)」と提携しました。

北海道銀行では、自治体向けに「移住・住みかえ・空き家対策セミナー」を北海道内5カ所で開催するなど、この提携を活用



セミナーの様子

した具体的な取り組みも始めています。

今後もJTIの「マイホーム借り上げ制度」を活用した個人向け融資商品の開発などを進めていきます。

北陸銀行 北海道銀行 地方創生・6次産業化支援のファンドを設立

北陸銀行では、8月3日、富山銀行、のと共栄信用金庫および農林漁業成長産業化支援機構などと共同で「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」を設立し、第1号案件として10月に輪島市のワイナリーが設立したカフェレストランの株式会社ハイディホフへ3千万円を出資しました。

また、北海道銀行では、9月1日に道内の18信用金庫と3信用組合および北海道ベンチャーキャピタルと共同で「ほっかいどう地方創生ファンド」を設立し、同月、技術面の優位性と成長性を評価し、抗体医薬品製造の医化学創業株式会社(札幌市)に5千万円を出資しました。



北陸銀行 リンカーズとの業務提携



8月7日、大手メーカーと中小企業の技術をマッチングするサービスを提供しているリンカーズ株式会社と、地方銀行として初めて業務提携を締結しました。

本提携は地域の「稼ぐ力」を向上させることを目的に北陸銀行がコーディネーターとなり、企業・地方公共団体等とのプラットフォームを構築することで地方創生活動をサポートするものです。





北海道銀行の取り組みをご紹介します。

北海道銀行 「北海道3自治体共催ビジネスセミナー」の開催

10月14日、道内に食品加工などの立地を考える企業を対象に、網走市、大空町、七飯町ななえの3自治体と東京において企業誘致ビジネスセミナーを共同開催しました。

道外企業における昨今のリスク分散志向や産地の近くで製造する資源型立地の動きがみられる中で、3自治体を持つ一次産品や水資源等の魅力やポテンシャルについてご紹介しました。

当日は、首都圏のほか、愛知県、福島県などから64社の参加があり、関心の高さを伺うことができました。



交流会の様子



北陸銀行

ふるさと就職応援プラットフォームの構築



9月28日、都市圏から地域内への「人材還流」を推し進めることを目的に民間人材ビジネス業者の3社・1団体と業務提携に関する協定を締結しました。

この提携により、①お取引先の人材ニーズを発掘し、提携先との人材情報とのマッチングを支援、②自治体や各団体と協働して人材情報を活用することで、「ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立を推進していきます。



記者会見の様子

北陸銀行 富山県機電工業会との包括的連携協定の締結

6月1日、富山県内230社の製造業者でつくる富山県機電工業会と包括的連携協定を締結しました。ものづくりの強化による地域活性化に向け、新技術や新商品の開発、海外進出に関する支援や協力をしていくほか、ベンチャービジネスに対する投資や融資などでも連携するものです。



北海道銀行 「道銀創業支援塾」開講

8月28日、道銀本店ビルで「道銀創業支援塾」の開講に向け、北海道中小企業総合支援センターとの連携協定および、日本政策金融公庫との覚書締結について調印式を行い、第1回目を10月に実施しました。

道銀創業支援塾は、創業を目指す経営者候補と創業後3年以内の経営者の方々を対象とし、北海道における新たな「しごと」づくりのサポートを通して、地域経済の活性化と雇用の促進を図ることを目的としています。

創業に関する数多くの相談実績とノウハウを有する北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）との共催によって、受講者層の間口拡大と内容の充実を図るとともに、日本政策金融公庫の協力を得ることで、資金調達などの支援の多様化を図ります。



調印式の様子



販路拡大支援

お取引先の成長を

北陸銀行

「ビジネス・サミット2015」～北陸新幹線開業！
「食」と「観光」の大商談会～を開催

6月3日、富山市で「食」の販路開拓と「観光」の魅力発信をテーマにした大商談会を大垣共立銀行と開催しました。

北陸新幹線沿線都市や中京圏、北海道の食品加工業者・観光団体が出展し、小売り業者や海外とのパイプを持つ商社などのバイヤーが商談に参加しました。会場では出展企業の食材を有名店シェフが調理するステージイベントも実施されました。



出展企業数 … 126社
バイヤー数 …… 67社
商談件数 …… 約700件



北陸銀行

北海道銀行

「北海道の『食』特別商談会in函館」を開催

8月20日、水産加工品の一大産地である函館においてイカや昆布等を扱う地元水産加工業者の販路拡大を支援するため、道外のバイヤーを招いて商談会を開催しました。

来春の北海道新幹線開業を控え、北海道産品に対する関心は高く、バイヤーからは「現地にきてメーカーに会うことで隠れた良い品が発掘できた」、「本州では知られていない食べ方の発見があった」などの意見があり、熱心な情報交換が行われました。



出展企業数 …… 15社
バイヤー数 …… 10社
商談件数 …… 100件



北海道銀行

「首都圏バイヤー&シェフチャレンジ」を開催

「地域再生・活性化ネットワーク」(26年1月に北海道銀行を含む地銀9行で構築)は、各地の選りすぐりの食品を首都圏の百貨店等のバイヤー、ホテルやレストランのシェフに紹介し、販路拡大に結び付ける取り組みを開始しました。

年4回の開催を予定しており、第1回目となった7月の商談会では、味や価格に加え、パッケージを活かした既存商品との差別化

など、さまざまな観点からアドバイスが行われました。

出展企業数 …… 19社



北陸銀行

「『北陸地方』商品発掘商談会 with 伊藤忠食品」の開催

6月18日、伊藤忠食品株式会社との共催で、同社の東京本社にて「北陸地方」食品発掘商談会を開催しました。

本商談会は、当社が実施している「地域産品プロジェクト」(地域産品の地産全消を目指した取り組み)に富山県とともに協力したもので、地元のおいしい食材を紹介し、同社の販売ネットワークを通じて地元企業の販路拡大を支援するものです。当日は富山、石川、長野、新潟の企業が自社商品を紹介し、活発な商談が行われました。



参加企業数 …… 23社
バイヤー …… 約50名





支援する取り組み

海外進出支援

北陸銀行 海外駐在員事務所長帰国報告会の開催 北海道銀行

27年4月、北陸銀行バンコク駐在員事務所長、北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所長による帰国報告会を帯広・札幌の2会場で開催しました。

海外の最新の現地事情や企業動向への道内企業の関心の高さを背景に、両会場ともにたくさんのご参加をいただきました。今後もほくほくフィナンシャルグループの海外拠点をフル

活用した情報提供に努めていきます。

参加者
帯広……60名(32社)
札幌……100名(32社)



北陸銀行 「寧波商談会」を開催 北海道銀行

7月9日、中国浙江省寧波市にて、経済協力協定を締結している市商務委員会との共催により、日本製品の輸出販路開拓に特化した商談会を開催しました。

寧波市は、「小上海」と呼ばれ、人口1千万人と商圏が大きく、日本の生活雑貨、食品、芸術品などの需要が高いことから、お取引先の中国への販路開拓ニーズが強い都市です。

商談会では、事前のマッチング作業により、お取引先のニーズに合致した中国企業との商談をセッティングすることで成約率の向上を図りました。



出展企業数……14社
中国企業数……62社
商談件数……約300件



北陸銀行 海外ビジネスセミナーの開催 北海道銀行

北陸銀行では、9月に富山市において「ほくほく長城会セミナー」を開催し、中国市場でのビジネスモデルの構築法について講師を招いて解説しました。

また、北海道銀行では4月に函館市において、JETRO北海道、在札幌ロシア領事館の共催で「ロシアビジネスセミナー」を開催しました。北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長が、今後大きく経済発展を遂げる可能性があり注目を集めるロシア極東地域の最新のビジネス環境および道内企業の動きについて報告しました。



ほくほく長城会セミナー

参加者 …………… 58名



ロシアビジネスセミナー

参加者 …………… 50名

北陸銀行 「ほくほく FOOD EXPO 2015」を開催 北海道銀行

8月26日、27日、ほくほくフィナンシャルグループの海外拠点を活かし、タイ、シンガポール、ベトナム、中国、ロシアからバイヤーを札幌市に招き、食品加工メーカーの道産品輸出拡大を支援する商談会を開催しました。

北海道および、北海道銀行・北陸銀行両行の業務提携行であるカシコン銀行との共催により、2行が道内において共同で行う輸出拡大商談会として、過去最多となる48社が出品しました。

参加企業は、バイヤーからの現地情報や海外展開についての意見に熱心に耳を傾けていました。

前日試食会参加……35社
当日出展企業数……48社
海外バイヤー数……15社
商談件数……159件



CSRの取り組み

北陸銀行

北海道銀行

YOSAKOIソーラン祭りに出場

札幌の初夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り2015」に市民団体との合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくフィナンシャルグループ」として出場しました。参加11年目となる今回は、北陸銀行、北海道銀行の両行から行員65名が踊り子や旗振りとして参加し、力強い演舞でお祭りを盛り上げました。



北海道銀行

「どうぎんカーリングクラシック」を初開催



「札幌に毎年開催されるカーリングの国際大会を」との市民の声が多いことから、カーリングの競技振興を目的に、どうぎんカーリングスタジアムにおいて、7月31日からの3日間「どうぎんカーリングクラシック2015」を開催しました。

スポンサーとして活動を支援している北海道銀行フォルトエイウスを含めた国内男女トップチーム8チームと、韓国の男女代表各1チームの計10チームが出場し、韓国代表男子チームが初代チャンピオンとなりました。今後も国際大会としての定着を目指し開催を続けていきます。



北海道銀行

「第29回道銀ライラックコンサート」を開催



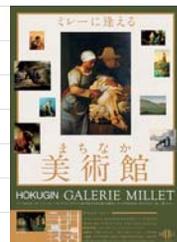
美しいクラシック音楽に気軽に触れてもらうこと、北海道の文化を身近に感じてもらうことを目的に、毎年5月に「道銀ライラックコンサート」を開催しています。札幌市民ホールにお客さま1,500名を招待し、ヴァイオリン奏者の伊藤亮太郎さんと札幌交響楽団による共演をお楽しみいただきました。



北陸銀行

「ギャリリ・ミレー」開館3周年

9月1日に北陸銀行が所有する絵画を展示する美術館「ギャリリ・ミレー」が開館3周年を迎え、これを記念して9月3日までの3日間の観覧料を無料としました。期間中、富山県内の方はもちろん、「おわら風の盆」に合わせて新幹線で富山にお越しになった方など多くの方が美術館に訪れ、ミレーやバルビゾン派等の作品を楽しまれました。今後も地元商店街の賑わいの創出に貢献できるよう努めています。



北陸銀行 TOPICS



ペット保険の取扱開始



27年10月、北陸三県、北海道の金融機関として初めて業界最大手のアニコム損害保険株式会社と代理店契約を締結し、ペット保険の取り扱いを開始しました。

いまや家族の一員として扱われることが多くなったペットですが、人と違って公的な健康保険の制度がないため、治療費は全額自己負担となります。ペット保険を利用することで、金銭的不安を感じることなく、気軽に動物病院へ足を運んでいただくことができます。

相続・資産運用窓口「ほくぎんプラザ」オープン

10月27日、コンサルティングをメイン業務とする「ほくぎんプラザ」が富山市内の一番町スクエアビルにオープンしました。

当プラザではお客さまの相談にお応えするため落ち着いた空間を用意し、専門スタッフを3名配置しています。予約制個室対応での相続・贈与や資産運用の相談に加え、各種セミナー開催など、お客さまのニーズに幅広くお応えしていきます。



一番町スクエアビル



〇ほくぎんプラザ概要

| | |
|------|--|
| 名称 | ほくぎんプラザ (越前町支店一番町出張所) |
| 所在地 | 富山市一番町1-1 (一番町スクエアビル4階) ※1、2階は越前町支店、 西田地方出張所が営業 |
| 営業日 | 火曜～土曜 ※日・月・祝・年末年始は休業 |
| 営業時間 | 10:00～18:00(予約制) |

北海道銀行 TOPICS



個人向けインターネットバンキングによる振込みが平日24時間化へ

27年7月から、個人向けインターネットバンキング「道銀ダイレクトサービス」を利用した北海道銀行本支店間の振込みについて、平日24時間「即時入金」の取り扱いを開始しました。北海道に本店を置く金融機関では初めての取り組みとなります。

従来、個人向けインターネットバンキングを利用した平日の振込みは、15時以降の受付分について、翌営業日扱いの入金としておりましたが、これにより、北海道銀行本支店間であれば、平日は時刻を問わず振込先の普通預金口座または貯蓄預金口座へ即時に入金となります。



「道銀空き家解体・有効活用ローン」の取扱開始

27年10月から、「道銀空き家解体・有効活用ローン」の取り扱いを開始しました。倒壊、火災、犯罪等、生活環境に悪影響を及ぼす可能性があるとして社会問題になっている「空き家」を、①解体するための費用、②再利用に向けて増改築・改装するための費用、③解体後に駐車場への転換や太陽光パネルの設置を行い有効活用するための費用など、空き家に関するあらゆる費用全般にご利用いただけます。

中間貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

| 資産の部 | 負債の部 |
|-----------|-------------|
| 流動資産 | 流動負債 |
| 現金及び預金 | 未払配当金 |
| 有価証券 | 未払費用 |
| 前払費用 | 未払法人税等 |
| 未収収益 | 未払消費税等 |
| 未収還付法人税等 | 預り金 |
| 固定資産 | 固定負債 |
| 有形固定資産 | 社債 |
| 器具及び備品 | 役員退職慰労引当金 |
| 投資その他の資産 | 負債の部合計 |
| 関係会社株式 | 純資産の部 |
| 関係会社長期貸付金 | 資本金 |
| その他 | 資本剰余金 |
| | 資本準備金 |
| | その他資本剰余金 |
| | 利益剰余金 |
| | その他利益剰余金 |
| | 繰越利益剰余金 |
| | 自己株式 |
| | 株主資本合計 |
| | 新株予約権 |
| | 純資産の部合計 |
| 資産の部合計 | 負債及び純資産の部合計 |

中間損益計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | |
|--------------|-------|
| 営業収益 | 1,132 |
| 関係会社受取配当金 | 808 |
| 関係会社受入手数料 | 324 |
| 営業費用 | 296 |
| 販売費及び一般管理費 | 296 |
| 営業利益 | 836 |
| 営業外収益 | 232 |
| 関係会社貸付金利息 | 217 |
| その他の営業外収益 | 14 |
| 営業外費用 | 258 |
| 社債利息 | 217 |
| 事務委託費 | 40 |
| 経常利益 | 810 |
| 税引前中間純利益 | 810 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 0 |
| 法人税等合計 | 0 |
| 中間純利益 | 809 |

中間株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 新株 予約権 | 純資産 合計 | |
|---------------------------|--------|--------|--------------|-------------|---------------------|-------------|---------|-----------|-----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | 自己株式 | | | 株主資本 合計 |
| | | 資本準備金 | その他資本 剰余金 | 資本剰余金 合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金 合計 | | | | |
| 当期首残高 | 70,895 | 82,034 | 55,061 | 137,096 | 29,325 | 29,325 | △ 1,479 | 235,836 | 266 | 236,103 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △ 6,500 | △ 6,500 | | △ 6,500 | | △ 6,500 |
| 中間純利益 | | | | | 809 | 809 | | 809 | | 809 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △ 14 | △ 14 | | △ 14 |
| 自己株式の処分 | | | 14 | 14 | | | 43 | 58 | | 58 |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | | | | | 53 | 53 |
| 当中間期変動額合計 | - | - | 14 | 14 | △ 5,690 | △ 5,690 | 29 | △ 5,646 | 53 | △ 5,593 |
| 当中間期末残高 | 70,895 | 82,034 | 55,075 | 137,110 | 23,634 | 23,634 | △ 1,449 | 230,189 | 319 | 230,509 |

中間連結貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

| | | | |
|--------------|------------|---------------|------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 現金預け金 | 1,350,109 | 預金 | 10,072,440 |
| コールローン及び買入手形 | 62,739 | 譲渡性預金 | 541,501 |
| 買入金銭債権 | 66,908 | コールマネー及び売渡手形 | 60,186 |
| 特定取引資産 | 4,400 | 債券貸借取引受入担保金 | 70,860 |
| 金銭の信託 | 7,769 | 特定取引負債 | 1,076 |
| 有価証券 | 2,434,453 | 借入金 | 104,303 |
| 貸出金 | 7,503,701 | 外国為替 | 155 |
| 外国為替 | 15,044 | 社債 | 43,000 |
| その他資産 | 115,083 | その他負債 | 146,363 |
| 有形固定資産 | 100,367 | 退職給付に係る負債 | 7,881 |
| 無形固定資産 | 25,442 | 役員退職慰労引当金 | 224 |
| 退職給付に係る資産 | 3,723 | 偶発損失引当金 | 2,002 |
| 繰延税金資産 | 3,069 | 睡眠預金払戻損失引当金 | 1,320 |
| 支払承諾見返 | 72,795 | 繰延税金負債 | 10,281 |
| 貸倒引当金 | △ 55,237 | 再評価に係る繰延税金負債 | 6,033 |
| | | 支払承諾 | 72,795 |
| | | 負債の部合計 | 11,140,427 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 資本金 | 70,895 |
| | | 資本剰余金 | 148,211 |
| | | 利益剰余金 | 252,574 |
| | | 自己株式 | △ 1,484 |
| | | 株主資本合計 | 470,196 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 87,035 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | △ 1,250 |
| | | 土地再評価差額金 | 8,790 |
| | | 退職給付に係る調整累計額 | 3,502 |
| | | その他の包括利益累計額合計 | 98,078 |
| | | 新株予約権 | 319 |
| | | 非支配株主持分 | 1,348 |
| | | 純資産の部合計 | 569,942 |
| 資産の部合計 | 11,710,369 | 負債及び純資産の部合計 | 11,710,369 |

中間連結損益計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | | |
|-----------------|----------|--------|
| 経常収益 | | 99,139 |
| 資金運用収益 | 64,413 | |
| (うち貸出金利息) | (49,282) | |
| (うち有価証券利息配当金) | (13,833) | |
| 役員取引等収益 | 20,162 | |
| 特定取引収益 | 142 | |
| その他業務収益 | 7,294 | |
| その他経常収益 | 7,126 | |
| 経常費用 | | 72,985 |
| 資金調達費用 | 3,473 | |
| (うち預金利息) | (1,731) | |
| 役員取引等費用 | 7,116 | |
| その他業務費用 | 4,608 | |
| 営業経費 | 50,405 | |
| その他経常費用 | 7,382 | |
| 経常利益 | | 26,153 |
| 特別利益 | | 66 |
| 特別損失 | | 791 |
| 税金等調整前中間純利益 | | 25,429 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,309 | |
| 法人税等調整額 | 1,389 | |
| 法人税等合計 | | 8,698 |
| 中間純利益 | | 16,730 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | | 69 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | | 16,661 |

中間連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | | 新株 予約権 | 非支配 株主持分 | 純資産 合計 |
|---------------------------|--------|-----------|-----------|--------|------------|----------------------|-------------|------------------|----------------------|-----------------------|-----------|-------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地 再評価 差額金 | 退職給付 に係る調 整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 70,895 | 148,197 | 242,701 | △1,514 | 460,279 | 101,033 | △845 | 8,502 | 2,473 | 111,164 | 266 | 1,276 | 572,987 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 6,500 | | △6,500 | | | | | | | | △ 6,500 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | | | 16,661 | | 16,661 | | | | | | | | 16,661 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 14 | △ 14 | | | | | | | | △ 14 |
| 自己株式の処分 | | 14 | | 43 | 58 | | | | | | | | 58 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | △ 288 | | △ 288 | | | | | | | | △ 288 |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | | △ 13,997 | △ 405 | 288 | 1,028 | △ 13,086 | 53 | 71 | △ 12,961 |
| 当中間期変動額合計 | - | 14 | 9,872 | 29 | 9,916 | △ 13,997 | △ 405 | 288 | 1,028 | △ 13,086 | 53 | 71 | △ 3,044 |
| 当中間期末残高 | 70,895 | 148,211 | 252,574 | △1,484 | 470,196 | 87,035 | △ 1,250 | 8,790 | 3,502 | 98,078 | 319 | 1,348 | 569,942 |

中間貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|--------|-----------|--------------|-----------|
| 現金預け金 | 798,910 | 預金 | 5,811,960 |
| コールローン | 62,739 | 譲渡性預金 | 194,776 |
| 買入金銭債権 | 66,907 | コールマネー | 60,186 |
| 特定取引資産 | 2,185 | 債券貸借取引受入担保金 | 41,818 |
| 有価証券 | 1,272,186 | 特定取引負債 | 1,076 |
| 貸出金 | 4,332,963 | 借入金 | 105,509 |
| 外国為替 | 7,823 | 外国為替 | 43 |
| その他資産 | 17,471 | その他負債 | 57,955 |
| 有形固定資産 | 77,220 | 退職給付引当金 | 1,710 |
| 無形固定資産 | 3,582 | 役員退職慰労引当金 | 57 |
| 前払年金費用 | 1,617 | 偶発損失引当金 | 1,436 |
| 支払承諾見返 | 36,814 | 睡眠預金払戻損失引当金 | 896 |
| 貸倒引当金 | △ 21,665 | 繰延税金負債 | 9,273 |
| | | 再評価に係る繰延税金負債 | 6,033 |
| | | 支払承諾 | 36,814 |
| | | 負債の部合計 | 6,329,547 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 資本金 | 140,409 |
| | | 資本剰余金 | 14,998 |
| | | 資本準備金 | 14,998 |
| | | 利益剰余金 | 97,434 |
| | | 利益準備金 | 9,523 |
| | | その他利益剰余金 | 87,911 |
| | | 繰越利益剰余金 | 87,911 |
| | | 株主資本合計 | 252,843 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 68,822 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | △ 1,250 |
| | | 土地再評価差額金 | 8,790 |
| | | 評価・換算差額等合計 | 76,362 |
| | | 純資産の部合計 | 329,206 |
| 資産の部合計 | 6,658,753 | 負債及び純資産の部合計 | 6,658,753 |

中間損益計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日) (単位:百万円)

| | |
|---------------|----------|
| 経常収益 | 46,345 |
| 資金運用収益 | 33,960 |
| (うち貸出金利息) | (26,259) |
| (うち有価証券利息配当金) | (6,648) |
| 役員取引等収益 | 9,040 |
| 特定取引収益 | 85 |
| その他業務収益 | 931 |
| その他経常収益 | 2,327 |
| 経常費用 | 33,422 |
| 資金調達費用 | 2,303 |
| (うち預金利息) | (1,029) |
| 役員取引等費用 | 3,599 |
| 営業経費 | 25,714 |
| その他経常費用 | 1,804 |
| 経常利益 | 12,923 |
| 特別損失 | 571 |
| 税引前中間純利益 | 12,351 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,771 |
| 法人税等調整額 | 317 |
| 法人税等合計 | 4,088 |
| 中間純利益 | 8,263 |

中間株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 | |
|----------------------|---------|--------|---------|-------|---------------------|--------|--------------|---------|----------|------------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 土地再評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | | | | | | | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 140,409 | 14,998 | 14,998 | 9,523 | 79,936 | 89,459 | 244,868 | 73,340 | △ 845 | 8,502 | 80,997 | 325,865 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 中間純利益 | | | | | 8,263 | 8,263 | 8,263 | | | | | 8,263 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | △ 288 | △ 288 | △ 288 | | | | | △ 288 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動(純額) | | | | | | | | △ 4,517 | △ 405 | 288 | △ 4,634 | △ 4,634 |
| 当中間期変動額合計 | - | - | - | - | 7,975 | 7,975 | 7,975 | △ 4,517 | △ 405 | 288 | △ 4,634 | 3,340 |
| 当中間期末残高 | 140,409 | 14,998 | 14,998 | 9,523 | 87,911 | 97,434 | 252,843 | 68,822 | △ 1,250 | 8,790 | 76,362 | 329,206 |

中間貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|--------|-----------|--------------|-----------|
| 現金預け金 | 549,841 | 預金 | 4,272,769 |
| 商品有価証券 | 2,214 | 譲渡性預金 | 356,225 |
| 金銭の信託 | 7,769 | 債券貸借取引受入担保金 | 29,042 |
| 有価証券 | 1,150,984 | 借入金 | 39,879 |
| 貸出金 | 3,186,333 | 外国為替 | 112 |
| 外国為替 | 7,221 | その他負債 | 59,892 |
| その他資産 | 56,584 | 退職給付引当金 | 8,874 |
| 有形固定資産 | 28,407 | 役員退職慰労引当金 | 104 |
| 無形固定資産 | 2,842 | 偶発損失引当金 | 566 |
| 繰延税金資産 | 5,583 | 睡眠預金払戻損失引当金 | 423 |
| 支払承諾見返 | 28,043 | 支払承諾 | 28,043 |
| 貸倒引当金 | △ 24,178 | 負債の部合計 | 4,795,933 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 資本金 | 93,524 |
| | | 資本剰余金 | 16,795 |
| | | 資本準備金 | 16,795 |
| | | 利益剰余金 | 73,414 |
| | | 利益準備金 | 7,166 |
| | | その他利益剰余金 | 66,248 |
| | | 繰越利益剰余金 | 66,248 |
| | | 株主資本合計 | 183,733 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 21,978 |
| | | 評価・換算差額等合計 | 21,978 |
| | | 純資産の部合計 | 205,712 |
| 資産の部合計 | 5,001,646 | 負債及び純資産の部合計 | 5,001,646 |

中間損益計算書 (平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | |
|---------------|----------|
| 経常収益 | 45,465 |
| 資金運用収益 | 31,089 |
| (うち貸出金利息) | (23,061) |
| (うち有価証券利息配当金) | (7,783) |
| 役務取引等収益 | 8,874 |
| その他業務収益 | 697 |
| その他経常収益 | 4,804 |
| 経常費用 | 31,491 |
| 資金調達費用 | 1,159 |
| (うち預金利息) | (703) |
| 役務取引等費用 | 4,121 |
| 営業経費 | 21,281 |
| その他経常費用 | 4,929 |
| 経常利益 | 13,973 |
| 特別利益 | 66 |
| 特別損失 | 171 |
| 税引前中間純利益 | 13,868 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,127 |
| 法人税等調整額 | 1,134 |
| 法人税等合計 | 4,261 |
| 中間純利益 | 9,606 |

中間株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産 合計 | |
|---------------------------|--------|-----------|-------------|-----------|---------------------|------------|----------------------|----------------|-----------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益 準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | | | | | 利益剰余金 合計 |
| 当期首残高 | 93,524 | 16,795 | 16,795 | 7,005 | 57,608 | 64,613 | 174,932 | 31,525 | 31,525 | 206,457 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | 161 | △ 966 | △ 805 | △ 805 | | | △ 805 |
| 中間純利益 | | | | | 9,606 | 9,606 | 9,606 | | | 9,606 |
| 株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額) | | | | | | | | △ 9,546 | △ 9,546 | △ 9,546 |
| 当中間期変動額合計 | - | - | - | 161 | 8,639 | 8,801 | 8,801 | △ 9,546 | △ 9,546 | △ 745 |
| 当中間期末残高 | 93,524 | 16,795 | 16,795 | 7,166 | 66,248 | 73,414 | 183,733 | 21,978 | 21,978 | 205,712 |

| | | |
|----------------------|--|--|
| 決算期 | 毎年3月31日 | |
| 定時株主総会の基準日 | 毎年3月31日 | |
| 定時株主総会 | 毎年6月 | |
| 剰余金の配当の基準日 | 3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日 | |
| 1単元の株式数 | 1,000株 | |
| 証券コード | 8377 | |
| 上場証券取引所(普通株式) | 東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所 | |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページ(http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 | |
| 株式 事務 取扱 場所 | 株主名簿管理人・ 特別口座管理機関 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |
| | お問い合わせ先・ 郵便物の送付先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 |

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

| | |
|--|--|
| 住所・氏名など届出事項の変更、 配当金振込先の指定、 単元未満株式の買取・買増請求等 | <ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店 |
| 未払配当金のお支払 | みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。) |
| 支払明細の発行 | みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店 |

② 優先株式をご所有の株主さま

| | |
|------------|-------------------------------|
| 各種ご請求・お手続き | みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店 |
|------------|-------------------------------|

◎特別口座について

「特別口座」とは、2009年1月の株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、株主さまの権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

特別口座にて管理されている株式を、単元未満株式の買取・買増以外の方法で売買される場合には、証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お手続きの詳細は、上記のみずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル)にお問い合わせください。

北陸銀行にキャラクターが誕生しました！

ほくまる と りくひめ

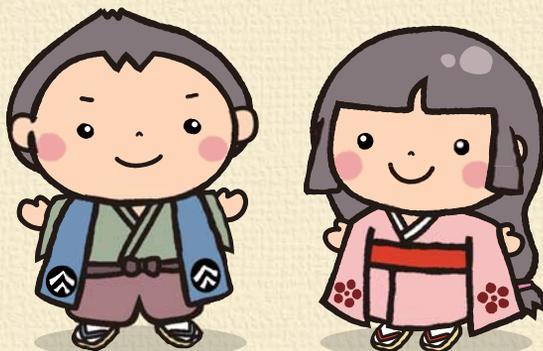
プロフィール

〈名前〉
ほくまる

〈好きなもの〉
日本海・おやつ昆布

〈性格〉
好奇心旺盛、
明るく元気いっぱいの男の子。
意外と辛抱強い性格は、
開拓者魂に通じている！?

〈将来の夢〉
つよくて優しいお殿さま



プロフィール

〈名前〉
りくひめ

〈好きなもの〉
お茶・和菓子

〈性格〉
みんなから頼りにされる
しっかり者の女の子。
普段はおっとりしているけれど、
ときには米騒動の女性のごとき
パワフルな一面も。

〈将来の夢〉
優しくてかشيいお姫さま

平成27年春、北陸銀行にキャラクターが誕生しました。
ぶしの国からやってきたほくまるとりくひめです。
北海道銀行のタローとハナコ同様、これからよろしくお願ひいたします。

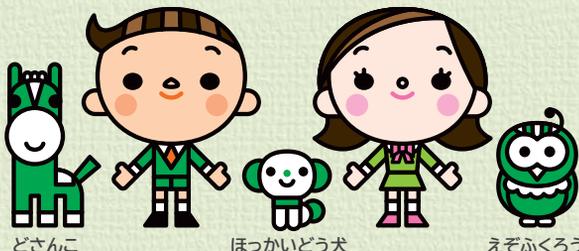
プロフィール

〈名前〉
タロー (正式名称 北海 太郎)

〈趣味〉
スポーツ観戦

〈性格〉
楽しいことが大好きで、何にでも
興味を持ち、積極的にチャレンジ
する頑張り屋さん。
生まれも育ちも北海道の、
生粋の“どさんこ”です。

〈好きなスポーツ〉
フットサル



どさんこ

ほっかいどう犬

えぞふくろう

プロフィール

〈名前〉
ハナコ (正式名称 道銀 花子)

〈趣味〉
ガーデニング

〈性格〉
タローの幼なじみで、頼れる
お姉さんの存在。
おとなしそうに見えますが、
しっかり者で気配り上手。

〈好きなスポーツ〉
カーリング

タローは、平成23年の北海道銀行創立60周年を記念して、
昭和34年に生まれた初代キャラクター「北海太郎」を現代風にアレンジしたものです。
パートナーのハナコや動物たちとともに、皆さまのゆたかな暮らしを応援していきます。



写真は「富山県砺波市 となみ夢の平のコスモス」です。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報CSR室

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>